

世界にあたらしい見方を。

スポーツは教えてくれる。
ビジネスの現場で生きる学びを。
複雑な世界に挑むための知恵を。

好きなものを観察すること。
そこから学びは開かれる。
心を動かすスポーツを通じて
社会を動かすデータサイエンスを学ぶ。
スポーツのデータを教材とし、
数字の奥にある本質を見抜く眼を育てる。

社会のあらゆるフィールドで
課題を発見し、解決策を生み出す。
その視点と視野を持った人材へ。
スポーツを通じたあらたな学びが、ここからはじまる。

スポーツを見つめ、スポーツで学ぶ。
中央大学 スポーツ情報学部

このビジュアルは、スポーツの「データ」から生まれました

本誌の表紙に描かれているのは、中央大学サッカー部のある試合データから生成された3Dビジュアライゼーションです。静止画では伝えきれないダイナミックな動きを、ぜひ特設サイトで直接お確かめください。

中央大学スポーツ情報学部(仮称)特設サイト▶



学部概要

学部名称	スポーツ情報学部 Faculty of Sports Data Science and Business	学生納付金 (初年度)	初年度合計：1,735,000円
学科名称	スポーツ情報学科 Department of Sports Data Science and Business		内訳 入学金：240,000円 授業料：1,117,200円 施設設備費：282,800円 実験実習料：80,000円 諸会費：15,000円
学位名称	学士(スポーツ情報) Bachelor of Sports Data Science and Business		
入学定員	295名(収容定員1,180名)		
基幹教員数	30名		

入試情報

	名称	募集人員	試験科目	
学部別選抜 一般方式	理系型	約60名*	英語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
	文系型	約40名*	英語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
			国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)
	数学	数学Ⅰ、数学A		

※募集人員については、2つのコースと連動した募集設定を行う予定です。
その他、大学入学共通テスト利用方式・英語外部試験利用方式(募集人員約65名)の他、各種の学校推薦型・総合型選抜(募集人員約140名)を行う予定です。

キャンパス

住 所

中央大学 多摩キャンパス

〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1

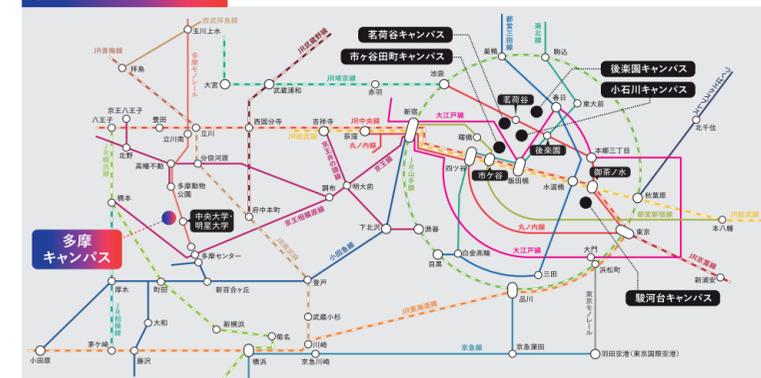
電車・バスでのアクセス

- 多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結
- 京王動物園線「多摩動物公園駅」から徒歩約10分
- JR中央線「豊田駅」からバス約15分 バス停「中央大学」下車
- 京王線・小田急線「多摩センター駅」からバス約12分 バス停「中央大学」下車

お問い合わせ

MAIL : info-sdb-grp@g.chuo-u.ac.jp
TEL : 042-674-2437

多摩キャンパスアクセス



※掲載のバスはイメージです。実際と異なる場合があります



※本リーフレットに記載の内容は設置構想中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

SDB

Chuo University
Faculty of
Sports Data science
and Business

2027年4月開設予定(設置構想中)

スポーツ情報学部 スポーツ情報学科

(仮称)

2027

行動する知性。
中央大学

開設準備室長からのメッセージ

失敗できる学部。以下の短い文章を通じて高校生諸君に伝えたいメッセージは、これです。失敗するという事は、不確実性の高い状況下でチャレンジをしたということです。結果として成功することよりも大事なことは、しっかりと取り組むべき課題を設定して、その解決に向けてチャレンジすることです。失敗はうまくいかない方法を一つ発見したということであり、「成功」に一歩近づく道程なのです。

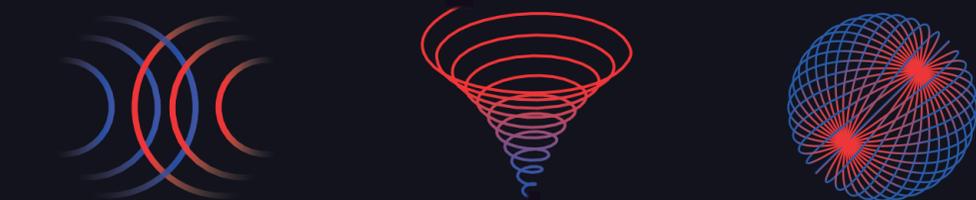
スポーツ情報学部（仮称）では、AI・データサイエンスと経営学・経済学の理論や技術を教育するとともに、在学中にそれらを駆使して、社会に価値をもたらす課題を自ら設定して、その解決に向けてチャレンジする場を提供します。一度チャレンジし、失敗しても、それを次のチャレンジにどのように接続するかを学ぶことで、次第にチャレンジの質は洗練されていきます。答えを覚える日々を終え、スポーツを通じた新たな学びにチャレンジしてみませんか？



中央大学スポーツ情報学部（仮称）開設準備室長
渡辺 岳夫

学部の特長

スポーツ情報学部は、スポーツ「を」学ぶのではなく、スポーツ「で」データサイエンスとビジネスを学ぶ学部です。スポーツから得られるデータを通じてデータサイエンスもビジネスも体系的かつ実践的に学べるのが特長です。



文理横断・融合型の学びを実現するカリキュラム

スポーツを学びの主たる対象として、AI・データサイエンスと経営学・経済学の理論や技術を文理横断的に習得する機会を提供し、社会に新たな価値を創出することができるデータ活用人材を育みます。

企業・地域団体と連携したPBL型教育の推進

学内外の企業や団体・地域と連携した課題解決型（PBL型）教育を実施する「スポーツビジネス実践」科目を多数設置することで、理論の習得と同時に、スポーツビジネスの実践に関する体験的な学びを提供します。

数理・データサイエンス・AI教育プログラムへ申請予定

学部独自で形成する科目群により、2年次までのカリキュラムで文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）相当の能力獲得が可能です（文部科学省の認定制度に申請予定）。

養成する人材像

問いを立てる力「立問力」

社会に存在する問題は漠然としています。その問題を解決するための効果的な「答え」は、正しい「問い」があってこそ、はじめて導き出せます。ビッグデータに隠れている因果関係を捉え、適切な問いを設定する力を育むために、スポーツを学びの主たる対象として、AI・データサイエンスや経営学・経済学の理論や技術を文理横断的に習得する機会を提供します。

答えに近づく力「発想力」

答えは実際に社会に適用して効果があつてこそ、正しい「答え」になります。効果が確認される前の「答え」は、単なる仮説です。効果をもたらす確率が高い、筋の良い仮説を設定するためには、収集した関連情報をベースとした発想力にかかっています。この力を育むために、スポーツやビジネスのフィールドを実際に観察・調査し、そこで経験・失敗・洞察する機会を提供します。

答えを具現化する力「変革力」

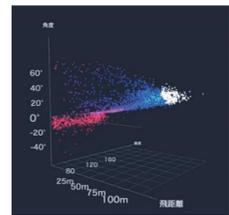
答えを具現化し問題が解決されれば、新たな価値が創出され、社会を変革することができます。そのためには、ビジョンを掲げ周囲の人々を巻き込み、よく人を理解しリードしつつ、答えを社会に実装する力、およびその答えが真に効果的であったのかを、データを適切に分析し検証する力が必要です。これらの力を育むために、学生同士や社会人と協働する機会、および高度な統計等のスキル・知識を学ぶ機会を提供します。

本学部では、文理横断・融合的な学びによる視野の広さ、理論と実践の往還による深い洞察をベースとして、社会における問題を解決する糸口を発見し、それを解決することで、社会に新たな価値を創出することができるデータ活用人材を育みます。

Message

スポーツ情報学部 学びのデザイン

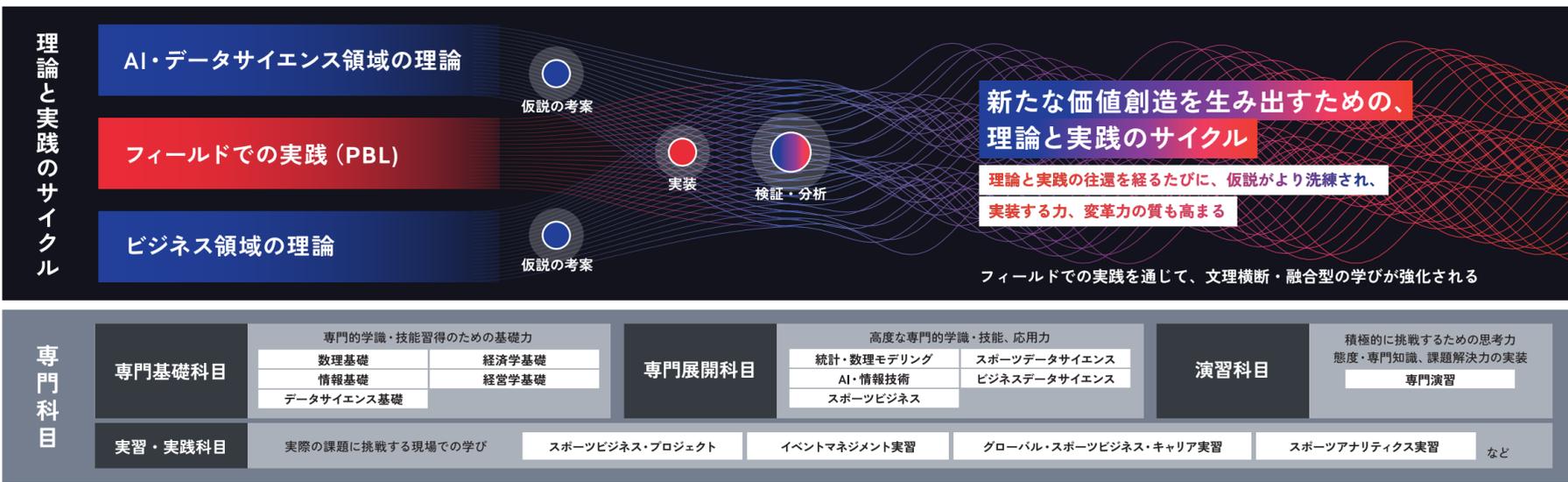
スポーツ情報学部では、社会におけるビッグデータに隠れている因果関係を捉え、適切な問いを設定する力を育むために、スポーツから得られるデータをもとに AI・データサイエンスと経営学・経済学の理論や技術を文理横断・融合的に習得する機会を提供します。



Pickup
データを活用した学びを体感しよう！

入学

卒業



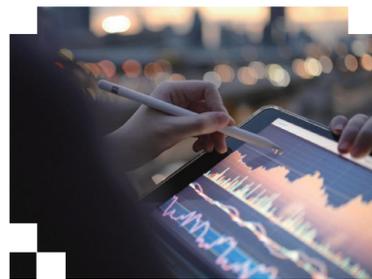
選べる2つのコース

スポーツ情報学部スポーツ情報学科では、教育内容の特性に応じて、以下の2つのコースを設置しています。

データサイエンスコース

データを読み解き社会や現象を可視化

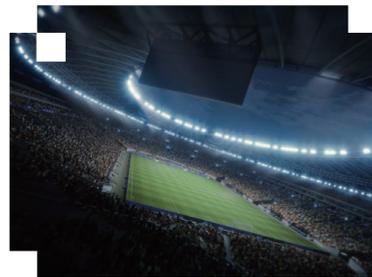
スポーツの現場で得られる多様なデータを対象に、統計学・AI・モデリングなどのデータサイエンスを体系的に学び、データを読み解き現象を可視化する力および新たな知見を創造する思考力の養成に重点を置いています。スポーツという複雑で動的なフィールドを通して、分析と洞察の方法を探究し、社会や現象を科学的に理解し、新たな知を創り出すデータソリューションの基盤を担うコースです。



スポーツビジネスコース

データから新たなビジネスモデルを探究・実装

AI・デジタルサイエンスに加え、経営学・経営学・マーケティングの基礎およびスポーツビジネスの理論を体系的に学ぶとともに、スポーツビジネス実践を経験的に学び、社会に価値を生み出す力を養成します。スポーツ産業を主たる対象として、データに基づく課題の発見・解決、およびデータから得られたインサイトやデジタル技術に基づく新たなビジネスモデルを探究・実装など、データソリューションの発展を担うコースです。



想定される進路

データサイエンス力とビジネス力を備えた、データを活用して社会課題を発見し、解決する視点と視野を持った人材として幅広い分野で活躍することを想定しています。

スポーツ関連企業
想定就職先
プロスポーツ運営企業、スポーツメーカーなどの製造業、スポーツ施設・空間マネジメント企業

一般の民間企業
想定就職先
情報・通信産業、金融・保険業、製造業、コンサルティング会社、広告代理店、テレビ局、出版社

NPO法人、官公庁、研究機関
想定就職先
日本オリンピック委員会、日本スポーツ振興センター、官公庁、その他研究機関、大学院

第一線で活躍する社会人からのメッセージ

好きなスポーツをきっかけに、データを正しく分析する力を身につけ、問いを立てながら創造力と独創力で未来を描いてください。

小泉 文明
株式会社メルカリ 取締役 President(会長)
株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー 代表取締役社長

様々なスポーツでデータ活用が増え、活躍の場が広がっています。ぜひスポーツ情報学部で学びましょう！

露崎 博之
株式会社千葉ロッテマリーンズ チーム戦略部
(卒業年度：2014年)

その他、OB・社会人からのメッセージはこちら

